

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	ホテルウェディング
対象学期	後 期		担当名 廣瀬 祐子
		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に携わるホテルスタッフとして、他部署やパートナー企業との役割や連携の重要性を理解し、他施設にはないホテルウェディングの魅力を知る																					
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて勤務経験のある講師が、ホテルで実際に経験した内容を交えながら、他部署との上手な関わり方やホテルウェディングにしかない魅力をグループワークを通して学べる授業を実施。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4. 0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3. 0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2. 0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1. 0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－ 出席不良</td><td></td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0. 0</td><td>59点以下（不合格）</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4. 0	90点～100点	B	－ 3. 0	80点～89点	C	－ 2. 0	70点～79点	D	－ 1. 0	60点～69点	E	－ 出席不良		F	－ 0. 0	59点以下（不合格）
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4. 0	90点～100点																				
B	－ 3. 0	80点～89点																				
C	－ 2. 0	70点～79点																				
D	－ 1. 0	60点～69点																				
E	－ 出席不良																					
F	－ 0. 0	59点以下（不合格）																				
履修に当たっての留意点	筆記用具は毎回持参してください。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・ホテルウェディングを学ぶ目的	筆記用具	
2	ホテルウェディングの歴史・特徴	PC	
3	ホテルにある部署・役割とパートナー企業		
4	ホテルウェディングで必要な専門知識・ホテル用語		
5	ホテルウェディングを求める新郎新婦像		
6	ホテルスタッフに必要な資質（グループディスカッション）		
7	ホテルスタッフに必要な資質（発表）		
8	ホテルウェディングの準備フロー・他施設との違い		
9	ホテルウェディングの業務①（プランナー新規接客解説）		
10	ホテルウェディングの業務②（新規接客練習）		
11	ホテルウェディングの業務③（新規接客ロールプレイング発表）		
12	ホテルウェディングの業務④（初回打合せ～最終打合せ解説）		
13	ホテルウェディングの業務⑤（結婚式本番施行解説）		
14	ホテルウェディングの魅力・まとめ		
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジⅠ 講義・演習・実技・実習	担当名	伏見さゆり・丹羽 律
対象学期	前 期			単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ブライダルにおける花との関わりや、基本的な花の知識を学びブライダル業界で働く事に対する意識を芽生えさせ、専門的知識を説明することができる。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として7教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。 ブライダル業界に密接な関係性がある花について、専門用語・種類や特徴を理解し、学びを通じてモチベーションを高め、基礎知識についての講義と実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　－　4.0　90点～100点 B　－　3.0　80点～89点 C　－　2.0　70点～79点 D　－　1.0　60点～69点 E　－　出席不良 F　－　0.0　59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。＊忘れ物をすると作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	フラワーアレンジメントに用いる資材、フォーカルポイン・メカニカルフォーカルポインについて理解する。水揚げ方法・生花の切り分け方、生けた後のケアを理解する。生花の切り分け方を実施(1人6～10本程度)	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4～P25まで自宅学習
3,4	生花作品①「ラウンド」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P98自宅学習
5,6	生花作品②メインテーブルフラワー「ホリゾンタル」作成の実施。	教科書・トレー・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95自宅学習
7,8	花の分類・植物の生育、科の種類のそれぞれの特徴を理解する。アレンジに使われるグリーンについて理解する。 生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26～P39まで自宅学習
9,10	四季の花や、花の季節行事を例示する。カラーコーディネートについて理解する。ワイヤリングとテーピング・リボンワークの扱い方を理解する。 生花作品④「フレンチボウ(リボン)」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P40～57まで自宅学習
11,12	コサージュについて理解する。生花作品⑤「3ポイントコサージュ」&「ヴァーティカル」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P58～P61まで・P103自宅学習
13,14	ウェディングブーケに関わるオーダー制作方法・管理方法について述べる事ができる。花づくりをする前に肥料や植物の特徴を理解する。エディブルフラワーについて理解する。生花作品⑥「ブーケホルダーと巻き上げ&ブートニア」&「ラウンドブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62～P73まで・P104自宅学習
15,16	生花作品⑦「ラウンドブーケ」&「ティアドロップブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P105自宅学習
17,18	生花作品⑧「ウェルカムボード」&「ファン」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P100自宅学習
19,20	ギフトと花の関係性、リボンワーク・ラッピング(保水)について理解する。生花作品⑨「鉢のラッピング」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P74～P79まで自宅学習
21,22	生花作品⑩「ナチュラルステムブーケ(花束)」&「スワッグ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P78～P79まで自宅学習
23,24	ドライフラワー・押し花の特徴、管理方法注意点を理解する。プリザーブドフラワーの扱い方、特徴・種類管理方法注意点を理解する。プリザーブドフラワー作品⑪「プリザーブドフラワーアレンジメント」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P80～P89まで自宅学習
25,26	基本デザインアレンジメント&ブーケ、アレンジメント用語の説明ができる。生花作品⑫「トライアングラー」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P90～P127まで・P95自宅学習
27,28	生花作品⑬「試験練習ホリゾンタル」&「試験練習トライアングラー」作成の実施。	教科書・トレー・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95・P103自宅学習
29,30	定期試験・EFD2級インストラクターライセンス筆記検定対策	教科書	第1回～14回講義内容自宅学習

対象学科	ウェディング科					
対象学年	3 学年	科目名	フラワーデザイン＆デッサンⅠ	担当名	松浦麻子	
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	デザイン案作成、作品制作、プレゼンシート作成、プレゼンテーション、を通し、企画を説明し魅力を伝える提案ができる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員がデザイン、ラフスケッチ→作品とプレゼンシート制作→プレゼンテーションを教える。デザイン実現と柔軟なプレゼンテーション力を習得する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	デザイン・作品・シート作成まで内容の関わりを活かし、機会を捉えるプレゼンテーションを行う

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	単体(花、資材、石など)のスケッチ、ゲストテーブルアレンジメントのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
3,4	アレンジメントの制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具 持帰り袋	なし
5,6	用紙と着彩道具の解説 着彩 プレゼンシートカラーリングの基本	前回までに描いたイラスト 撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)	進捗により、データをPCへ取り込む等
7,8	プレゼンシートレイアウトの基本 プレゼンシート作成	ノートパソコン	なし
9,10	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
11,12	近景のスケッチ、ウェルカムリースのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
13,14	着彩 プレゼンシート①の作成 シュミレーション	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具	なし
15,16	ウェルカムリース制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	進捗により、データをPCへ取り込む等
17,18	プレゼンシート②の作成	ノートパソコン	なし
19,20	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
21,22	平面図を描く、受付装花のデザインとラフスケッチ、着彩	筆記用具 定規	なし
23,24	プレゼンシートの作成	ノートパソコン	なし
25,26	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
27,28	受付装花制作	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	なし
29,30	定期試験	筆記用具	なし

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	英会話演習A		ILC
対象学期	前後 期	講義	演習 実技 実習	2単位 30時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝える・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。			
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。			
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする			
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習しておくこと。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。			

授業回数別教育内容

回数・日程	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■コース紹介 ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel 旅行について話すことができる ■Can discuss tours ツアーについて議論することができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、自宅学習
2	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport 空港出チェックイン対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、自宅学習
3	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、自宅学習
4	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、自宅学習
5	■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、自宅学習
6	■Can explain sighseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping お客様がお客様を購入する際にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、自宅学習
7	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様のサポートができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、自宅学習
8	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、自宅学習
9	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、自宅学習
10	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、自宅学習
11	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can buy bullet triain tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、自宅学習
12	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、自宅学習
13	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、自宅学習
14	■Review of course materials-cosolidation through role play これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation 試験勉強	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学科	ウェディング科			
対象学年	3 学年	科目名	ハウスセールスI	担当名 田中 絵巳
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	「集客～新規接客～成約の流れを理解し、新規接客カウンセリング時の質問・会話の意図を説明できること」 ①認知:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングですべき質問・会話の意図を理解する ②感情:ハウスセールスって面白い、やってみたい ③行動:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングの質問・会話の意図を説明できる ④対人関係:各項目を他者に説明できる(テストにて確認)
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員がゲストハウスでの新規接客での各項目で実施する質問・会話の意図を教える。前期は意図理解、後期は実践編と分けることにより、型(セールストーク)だけを教えるのではなく、プランナーとして必要な知識と姿勢を習得する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	持ち物:筆記用具とメモ帳、定期試験日はパソコン持参 服装:私服

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【オリエンテーション】 ウェディング業界理解／歴史	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
2	【企業研究】 大手ゲストハウス系企業①	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
3	【企業研究】 大手ゲストハウス系企業②	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
4	【企業研究／集客】 クチコミ分析	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
5	【企業研究】 多様なゲストハウス系企業①	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
6	【企業研究】 多様なゲストハウス系企業②	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
7	【地域特性】 結婚式の地域特性	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
8	【新規接客／フェア】 セールスの役割、フェアの内容理解	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
9	【新規接客／カウンセリング①】 挨拶・アイスブレイク、希望ヒヤリング	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
10	【新規接客／カウンセリング②】 日程カウンセリング、六輝	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
11	【新規接客／日程提示・会場見学】 会場見学、席次表	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
12	【新規接客／見積もり①】 お見積書の見方、説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
13	【新規接客／見積もり②】 お見積書の見方、説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
14	【成約】 仮予約、申し込み、規約、宿泊、二次会	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
15	定期試験	各授業の振り返り資料持参 パソコン	定期試験の為の復習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	アニバーサリープランニング	中村 恵理
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	日常のイベントをより効果的に演出するための手法を、実例を元に実践的に学び、ブライダルフェアやプロポーズプランなどの企画立案を準備する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、日常のイベントシーンをはじめとし、ブライダルフェアの企画ができるように実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	1つ1つの事例を自分の大切な相手に行う気持ちで取り組む事

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	日常におけるアニバーサリーシーンとは	筆記用具	
2	①誕生日についてのプランニング(準備)	筆記用具、パソコン	
3	①誕生日についてのプランニング(発表)	筆記用具	
4	イベントプランニングに必要な要素 (対象者の把握、ヒアリング)	筆記用具	
5	イベントプランニングに必要な要素 (対象者の特徴、ペルソナ設定)	筆記用具	
6	イベントプランニングに必要な要素 (タイムスケジュール作成、予算設定)	筆記用具	
7	イベントプランニングに必要な要素 (当日運営、アクシデント対応)	筆記用具	
8	季節ごとに行われるイベントシーン (イベントプランニング実践)	筆記用具	
9	婚礼業界におけるアニバーサリーシーンとは 新規顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
10	成約顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
11	式済み顧客向けのイベント	筆記用具	
12	②式済み顧客に向けたイベントのプランニング (準備)	筆記用具、パソコン	
13	②式済み顧客に向けたイベントの発表	筆記用具、パソコン	
14	まとめ 定期試験に向けての準備	筆記用具	
15	定期試験(プロポーズプランを企画立案する)		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ホテルセールスⅠ		担当名 丸毛 浩一
対象学期(Q)	前 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数 単位 30 時間

到達目標	ホテルのセールス&マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス&マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験+ワークセッション評価とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。 メモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びPCを忘れず持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	本教科の授業概要を理解する セールス&マーケティング部門について	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	セールス&マーケティング部門の理解 マーケティング概念の理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	マーケティング概念の理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ポジショニングとセグメンテーション&ターゲティングⅠ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ポジショニングとセグメンテーション&ターゲティングⅡ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
6	コンセプティングと競合分析の理解について	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
7	データ分析とブランドタッチポイントの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	データ分析とブランドタッチポイントの理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	CRMとワークセッションへ向けて(まとめ)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅲ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる) Ⅳ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	ホテルセールス&マーケティングⅠ 学習まとめ (定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記+ワークセッション)		

対象学科	ウェディング科			担当名	丸毛 浩一	
対象学年	3 学年	科目名	ホテルセールスⅡ		単位/時間数	単位 30 時間
対象学期(Q)	後 期		講義	演習・実技・実習		

到達目標	ホテルのセールス＆マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。																					
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス＆マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験＋ワークセッション評価とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。メモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びPCを忘れず持参すること。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	エクスターナルマーケティングの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	エクスターナルマーケティングの理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ファンマーケティングの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ファンマーケティングの理解Ⅱ & エクスターナルマーケティング	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ホテル運営の基本ⅠⅡ(先ずお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
6	ホテル運営の基本ⅢⅣ(又、いつもお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
7	ホテル運営の基本Ⅴ(顧客満足向上CS・CX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
8	ホテル運営の基本Ⅵ(従業員満足向上ES・EX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
9	ホテル運営の基本Ⅶ(ブランド確立)とホテル運営の基本 まとめ ワークセッションへ向けて	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅲ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅳ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
14	ホテルセールス&マーケティングⅡ 学習まとめ(定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記+ワークセッション)		

対象学科	ウェディング科					
対象学年	3 学年	科目名	着付 初伝・中伝		担当名	岡野暢子
対象学期	前 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数

到達目標	山野流着装〈初伝〉〈中伝〉の資格取得を目標とし、現場で実践できる基礎技術を身に着ける。初伝では着物の基礎知識を学び、小紋の着付と名古屋帯の一重太鼓を結ぶことが出来る。中伝では振袖と留袖の着付を学び、お客様に着付することが出来る。
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より冠婚葬祭での着物の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる和装着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	資格取得の科目につき全日出席してください。 キャミソール（タンクトップは不可）・レギンス（薄手のもの）を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	浴衣の歴史・知識 着物の名称 下着・紐類・小物の用い方 下着の着付	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
3,4	浴衣の着付と細帯の結び方	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
5,6	小紋と名古屋帯の知識 着付前の準備の仕方 展示同時実習 長襦袢の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
7,8	名古屋帯のたたみ方から準備の仕方 展示同時実習 小紋の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
9,10	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
11,12	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
13,14	定期試験〈初伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
15,16	ミスの第一礼装 振袖についての知識を学ぶ 体型補正から長襦袢までの着付を学ぶ（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
17,18	着付け前の準備の仕方 振袖の着付から伊達締めまでを学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
19,20	振袖の着付：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二枚扇 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
21,22	振袖の着付：準備より帯結びまでを時間内に完成させる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
23,24	ミセスの第一礼装：留袖についての知識を学ぶ 体型補正から留袖（伊達締め）までの着付を学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
25,26	留袖の着付け：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二重太鼓 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
27,28	着付け総仕上げ 着付けの準備からお客様の着付け→衣裳のしまい方まで（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
29,30	定期試験〈中伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	花嫁着付(紋服・白無垢)	担当名	岡野暢子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	和装婚礼式服の基本着付 1.婚礼衣装、小物類のあつかい方を覚える 2.花婿式服の着付を覚える 2.花嫁式服の着付を覚える
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より和装婚礼式服の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる婚礼着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	キャミソール（タンクトップは不可）・レギンス（薄手のもの）を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	和装花婿の紋服の基礎知識と基本着付を覚える	花婿着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
3,4	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 綿花・タオルを用いた体型補正から長襦袢の基本着付	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
5,6	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正から長襦袢の着付、掛下の基本着付まで実施	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
7,8	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正→長襦袢→掛下→掛下文庫結びを実施する	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
9,10	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛までを仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
11,12	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→褌どりまでを覚える	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
13,14	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→型づけまで仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
15	定期試験 3人一組で花嫁の体型づくりから掛下 →掛下文庫結び→打掛→型づけまでを仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジⅡ		担当名 伏見さゆり・丹羽 律
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	フラワーデザインの基本的な知識に加え、ブライダルにおける花との関わりを専門的に深め、ブライダルに特化したコンセプチュアルスキルを磨き、幅広いデザイン表現できるように実践的にフラワー業界で活躍できる人材を育成する。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として7教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。フローリストとして、専門的知識と技術、高度なテクニックや創造性の向上を図り、即戦力となれるよう経験を積み講義や実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。 *忘れ物をすると、作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	植物の栄養、構造を理解する。 生花作品①「春のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4～P13まで自宅学習
3,4	花の個性をより引き出す価値観による分類、植物の表面構造を分類する。 生花作品②「和風ボールブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P14～P17まで自宅学習
5,6	植物の動きの形態を説明する。フラワーアレンジにおける制作構成について理解する。 生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P18～P21まで自宅学習
7,8	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅰ(MFPIについて)理解する。 生花作品④「クラッチブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P22～P23まで自宅学習
9,10	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅱ(シンメトリーとアシンメトリーについて)理解する。 生花作品⑤「ラジエーション」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P24～P25まで自宅学習
11,12	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅲ(配列)について理解する。 生花作品⑥「アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26～P28まで自宅学習
13,14	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅳ(プロポーション)について理解する。 生花作品⑦「EFD1級検定学内試験アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P29自宅学習
15,16	アレンジメントにおける花材やデザインに合った適切な方法メカニクスについて理解する。 生花作品⑧「バックブーケ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P30～P31まで自宅学習
17,18	ウェディングを演出するに欠かせない花飾りについて理解する。 生花作品⑨「シャワーブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P32～P43まで自宅学習
19,20	現場制作生け込み、ハーブについて理解する。 生花作品⑩「夏のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・コンポートカップ・ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P44～P47まで自宅学習
21,22	色による感情効果、カラーコーディネートについて理解する。 テーブルコーディネートについて理解する。 生花作品⑪「プリザーブドフラワーメリア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・グルーガン	教科書P48～P58まで自宅学習
23,24	フラワーアレンジメントの時代と様式を理解する。 生花作品⑫「スクエア」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P59自宅学習
25,26	鑑賞授業 『植物園見学』 本物の生きた植物から、多種多様な植物の特徴、面白さ、不思議さを体験し理解する。	筆記用具・メモ用紙	植物園のリサーチ
27,28	フラワーアレンジメント全般の用語、展開図について理解する。 生花作品⑬「キャスケードブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62～P103まで自宅学習
29,30	1限目 EFD1級検定学内試験キャスケードブーケ 2限目 定期試験	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	第1回～14回講義内容・EFD検定実技試験自宅学習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	カリグラフィー入門A	阿部 英衣
対象学期	前後 期	講義 (演習) ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	カリグラフィーの基礎的な知識を学び、花嫁様の希望を叶えるウェディングアイテムを作ることができるようにする。
学習内容	カリグラファーによるハイクオリティのウェルカムボードを作る技術の演習。文字を書くという手仕事を通じ、個性の表現を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カリグラフィー道具の持参/授業内容に応じて自宅学習有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	道具の使い方と書体の特徴	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
2	小文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
3	小文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
4	大文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
5	大文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
6	数字の書き方と小文字・大文字のチェックテスト	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
7	カード作り(Groom・Brideカード)	テキスト(当日配付)	
8	平筆の使い方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
9	平筆の使い方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
10	ミニウェルカムボード作り1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
11	ミニウェルカムボード作り2		
12	ウェルカムボード作り1		授業内容に応じて自宅学習
13	ウェルカムボード作り2		授業内容に応じて自宅学習
14	ウェルカムボード作り3		授業内容に応じて自宅学習
15	ウェルカムボード作り4(定期試験作品提出)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	アテンド・キャプテン・司会実践B
対象学期(Q)	後 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	唐橋 誠治
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンド・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4. 0 90点～100点 B － 3. 0 80点～89点 C － 2. 0 70点～79点 D － 1. 0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	※唐橋メモ アテンダー・司会の先生の出講授業については大松先生と要相談

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】受付・クロークについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認	プリント受付編①	
3,4	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)	プリントホワイエ編②	
5,6	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)	プリント料理アレルギー③	
7,8	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)	プリント披露宴スタートから④	
9,10	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)	プリント料理・アレルギー⑤	
11,12	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
13,14	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
15,16	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
17,18	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
19,20	模擬披露宴本番(1回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
21,22	【座学】1回目の反省とオリジナルウェディングを考える (設定変更・役割変更)		
23,24	リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
25,26	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
27,28	模擬披露宴本番(2回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
29,30	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	接遇介助士ホスピタントA	山田みどり
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	”接遇介助(高齢者、妊婦、障害者など)を適切に行えるようになる。ウェディング・ホテル接客スキルの一環として習得する。 ※「接遇介助士ホスピタントアソシエイト3級」合格を目指す”
学習内容	一流ホテルにて婚礼・宴会などホテル業務、カナダでサービス業に勤めるなど、多種多様なシチュエーション、人々の特徴、異文化を含めたコミュニケーション力を備えた講師より、相手の状況や心理状態学びながら、お客様への適切な声掛けやコミュニケーションを行えるように実践的な学習を行う。接客時や日常生活における適切なサポート方法を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	接遇介助士ホスピタントの必要性と資質	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
3,4	ホスピタントマナーの理解 ヒューマンティの概念	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
5,6	QOLの発表 お客様心理の理解	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
7,8	ポジティブワードの会話とは 5つの視点	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
9,10	ロールプレイング(5つの視点) Global Security・個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
11,12	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン ロールプレイング(クエスチョン)	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
13,14	これまでの振り返り	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
15,16	お客様に合わせた 接客・介助・サービス	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
17,18	実技①(5人1組)個性の理解 実技②(5人1組)個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
19,20	プレゼンテーション 実技③(2人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
21,22	個性に合わせた接客・接遇 実技④(5人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
23,24	実技⑤(5人1組)デモンストレーション 多様性を理解する	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
25,26	お客様を守る接客	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
27,28	前期・後期の振り返り 模擬試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
29,30	定期試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	

対象学科	ウェディング科			担当名	矢越了子・岡永めぐみ 佐野みゆき
対象学年	3 学年	科目名	トータルビューティA・B	単位/時間数	2単位 60時間
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 (実技) ・ 実習		

到達目標	【ピラティス】ピラティスの知識と技術を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。また、得た知識で新郎新婦様に姿勢やリラクセス方法などの助言ができる人材を育成する。【ジュエリー】アクセサリという、挙式ではなくてはならないアイテムを基本的な知識から学ぶ。工具や様々なアイテムの使い方、また、既存の修復方法等、現場でアクセサリ関係のアクシデントがあった時のも対応が出来るようにする。また近年の和装人気に対応出来るように水引の結び方もマスターし、小物が作れるようになる。【エステ】スキンケアやストレスリリースの知識を習得し、ビューティでのセルフプロデュース力を向上する。
学習内容	【ピラティス】ピラティスがどのように生まれ、どのように普及したのか、その歴史を知り、現代におけるその目的と効果を理解し、自身の身体に効果を感じる。【ジュエリー】色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリの提案と作成を行っている講師が、基本的な工具の使い方から既存のアクセサリの修理・修復が出来るようする。また、水引の基本的な結び方を学び、小物が作れるようになる。【エステ】スキンケアやマッサージの方法を習得してインナービューティのセルフプロデュース力を身につける。アロマセラピーを用いてリラクゼーションテクニックを習得し実践できるようにする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	【ジュエリー】爪が長すぎると作業がしにくいいため、少しカットしておくことをおすすめします。また、自分で持っているアクセサリで使いにくいものや、金具が壊れているものを持参してもらえると、自分で直すことができます。【エステ】授業時に配布するプリントを使用する。演習用のタオルを準備する。

授業回数別教育内容 1～5回ピラティス・6～9回ジュエリー・10～14回エステ・15回定期試験

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	「ピラティスってなんですか?」「実際のピラティスセッション」 「ピラティス イントロダクトリーマットエクササイズ」		
3,4	「ピラティス解剖学」「ピラティスの原理原則」		
5,6	「初級マットエクササイズ」		
7,8	「初級マットエクササイズ」		
9,10	筆記試験 自己採点とフィードバック 「ストレッチの効果」		
11,12	自己紹介・工具の使い方・アイテムの紹介/ 天然石のリング作成(テグスを使う作業)		
13,14	9ピン・Tピン・丸カンなどの使い方・色々な素材紹介/ ネックレス制作(9ピン、Tピン、丸カン作業)		
15,16	水引の歴史紹介・水引の扱い方/淡路結び・菜の花結び(ピアス作成orイヤリング作成)		
17,18	試験/水引 (玉結びでネックレスorピアスorイヤリング作成)		
19,20	手のマッサージ・ツボを知る	配付プリント	
21,22	スキンケア/スペシャルケア(スクラブ・パック)	配付プリント	
23,24	アロマセラピー/香りの効果(クラフト作成:バスボム)	配付プリント	
25,26	足のマッサージ・ツボを知る	配付プリント	
27,28	アロマセラピーを用いたケア/クラフト作成:ルームスプレー	配付プリント	
29,30	定期試験	ヨガ・ジュエリー・エステ20点ずつ(合計60点)の試験を実施	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	カウンセリングロールプレイB
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	中村 恵理
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	カウンセリングの必要性を知り、潜在的な要望を聞き出すための手法を実践を踏まえながら実施する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在活躍している教員が、日常の場面でのカウンセリングシーンや婚礼で求められるカウンセリングの意味をロールプレイを通して伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	人(相手)に興味を持つこと。社会に出てからすぐに実践できるように言葉づかいにも気をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション カウンセリングとヒアリングの違いとは	筆記用具	違いを知り、日常のカウンセリングをしているシーンについて考える
2	日常でみかけるカウンセリングのシーンとは (グループワーク→発表)	筆記用具	
3	婚礼におけるカウンセリングの必要性	筆記用具	
4	カウンセリング手法(同調、質問の形式)	筆記用具	
5	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験①	筆記用具	
6	カウンセリング実践①ドレスショッパ	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
7	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
8	カウンセリング実践②式場見学	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
9	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
10	カウンセリング実践③打合せ開始時	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
11	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
12	どのように対応をしたら 新郎新婦は不快に思わず答えてくれるか	筆記用具	
13	カウンセリングを上達させるために必要な要素	筆記用具	
14	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験②	筆記用具	
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダーA/B
対象学期(Q)	前・後 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	唐橋 誠治
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。バーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識(テーブルマナーや大人の教養を身に着ける)																					
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	飲材の仕入状況により、実技内容が変更することもあります。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】ワインの製造方法を知る。各ボトルの説明 ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ	デキャンター、ソムリエナイフ	
3,4	【座学】ワインのクイズプリントブドウ品種とワイン用語 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイスティング方法を水で習得する)	クリスタルカイザー・エビアン・ コントレックス	
5,6	【座学】カクテルのクイズプリント 有名カクテル名を知る 【実技】赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショールージュ)	赤ワイン・グラニュー糖	
7,8	【座学】ミニテスト (赤ワイン・白ワイン・スパークリング・ワイン全般の問題) 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る	レモン・グラニュー糖・炭酸水	
9,10	【座学】日本酒の起源、精米歩合、酒造好適米、日本三大酒処 【実技】白ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショープラン)	白ワイン・グラニュー糖	
11,12	【座学】ウイスキーの起源、5大ウイスキー産地、バーボンとは 【実技】カクテルのシェイカーとミキシンググラスの使い方を学ぶ	シンデレラ	
13,14	【座学】お茶とお水の問題について 【実技】パイナップルカットOR缶詰を使用したハンドブレンダー	パイナップルスムージー	
15,16	【座学】ビールについて 【実技】ノンアルコールビールカクテル作り	ロイヤルカシスコーヒーとノンアルコール 黒ビールコーヒーとキャラメルラテコー ヒー	
17,18	【座学】紅茶について 【実技】シェイカーを使用した紅茶カクテル作り	フレーバーティー(紅茶パック)と ジュース	
19,20	【座学】コーヒーについて 【実技】ハードシェイク、ホットカクテル作り	抹茶ラテ・紅茶ラテ・チョコバナナ	
21,22	【座学】ミニテスト(世界のカクテル名) 【実技】スムージーカクテル作り	缶詰(ライチ・みかん・白桃)	
23,24	【座学】料飲全般の問題 【実技】カクテルコンペティションの動作を学ぶ(リハーサル)	オレンジカット、フルーツポンチ	
25,26	オリジナルカクテル① コンセプト&カクテルレシピ	キウイカット、ピンクグレープ フルーツノンアルコールモヒート	
27,28	カクテルコンペティション 味・所作・見た目の採点	自家製ジンジャーエール	
29,30	定期試験(座学で行った内容ベース)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策3級 I
対象学期(Q)	前 期		担当名 山岸 智恵子
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　　－　4.0　　90点～100点 B　　－　3.0　　80点～89点 C　　－　2.0　　70点～79点 D　　－　1.0　　60点～69点 E　　－　出席不良 F　　－　0.0　　59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力 2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP18～25読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語 4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP34～52読む
5	IIIプランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP54～89読む
6	IVブライダル商品の特徴を理解する/プレゼンテーション(新規・成約)、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP92～100読む
7	V手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP122～146読む
8	I～VIまでの重要ポイントのみ振り返りアウトプットする VIIブライダル市場の規模と特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP14～146復習
9	VIIブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP148～172読む
10	VIII経営管理/コンプライアンス、トラブル対処	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP216～235読む
11	X-1ブライダル基本知識/結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP238～250読む
12	X-2ブライダル基本知識/海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP251～259読む
13	X-3ブライダル基本知識/見合い・婚約・結納	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP260～277読む
14	X-4ブライダル基本知識/結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行 /定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP278～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
対象学期(Q)	後 期	BR国家検定対策3級Ⅱ
		担当名
		山岸 智恵子
		単位/時間数
		2単位 30 時間
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること(※第5回以降PC必須となります。)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	X-5ブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP300～305読む
2	X-5ブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP308～325読む
3	X-6ブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP326～340読む
4	X-7ブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP341～353読む
5	模擬試験① /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
6	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
7	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
8	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
9	模擬試験② /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
10	実技試験対策 /解説(結納品9品目実物確認)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
11	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
12	模擬試験③ /解説・国家検定直前対策(実技含む)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
	国家検定試験		
13	国家検定試験振返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、見直し
14	定期試験対策 /テキスト振返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ブライダルトrend研究	担当名	遠藤智緒里
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	# プレ花嫁が考えていること、# 卒花嫁が思ったことなどから、業界で流行っている(トレンド)結婚式の良いところ、悪いところを探し出し、結婚式の知識を膨らますと共に、業界に対して、最良の結婚式とはどのような結婚式なのかを考え、企画し、提案・発信するスキルを習得する。
学習内容	業界歴25年以上ウェディングスタイリストとして、衣装・美容・写真・映像・空間コーディネートの業界トレンド研究を行い、ブライダル総研の学生のアイデアコンテストにおいて「グランプリ」に導いた講師が研究⇒企画⇒提案のノウハウを伝授。「SNSの# 卒花嫁・# プレ花嫁を大研究！～流行のお洒落結婚式を企画してみよう～」と題して、お洒落な結婚式をInstagramなどのSNSから情報収集し、トレンドの結婚式を考え(研究)、良い結婚式をプランニング(企画)し、プレゼンテーション(提案)をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はプレゼンテーションとする
履修に当たっての留意点	Instagram、Pinterest、ゼクシィなどを用いて情報収集をするので、アプリ等のダウンロードは必須

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション:到達目標・学習内容の説明 トレンド(流行り)とは/流行っているモノ探し	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	お洒落ウェディング画像を見てくる
2	【情報収集】芸能人の結婚式 結婚式で流行っているモノ探し 会場・衣装・美容・写真・ムービー・装花・演出 等	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
3	【情報収集】テーマを決めて、Pinterestから世界のトレンドのお洒落結婚式画像の収集	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
4	【ワーク】コラージュ ゼクシィから好きなモノを集めてコラージュする	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
5	【情報収集】Instagramから # 卒業花嫁の声 # プレ花嫁の声を収集	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	好きなキャラクター 好きな色を考えてくる
6	【情報共有】 情報収集で得た情報を発表し、共有する	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
7	【研究】キャラクターウェディング キャラクターを絞り、〇〇ウェディングを考える	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
8	【研究】カラー(色)のウェディング トレンドの色を研究し、〇〇(色)ウェディングを考える	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
9	【研究】トレンドアイテム アイテムを1つ絞り、グループでトレンド商品研究を行う	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
10	【企画】商品企画 これから流行るかも?ウェディング商品企画	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
11	【企画】トレンドの〇〇ウェディングをプレゼンテーション プレゼンテーション資料をPowerPointで作成する	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
12	【発表準備・調整】 プレゼンテーションの準備と調整	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
13	【発表のリハーサル】 プレゼンテーションのリハーサルを行う	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	プレゼンテーションの 練習をしてくる
14	定期試験(プレゼンテーション) フィードバック	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
15	定期試験(プレゼンテーション) フィードバック	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	オリジナルプランニング I	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	新郎新婦に合わせたオリジナルプランニングを提案するための、基礎知識・感性・調査力・想像力・プレゼン力・チームワークを磨く過程で、ウェディングプランナーとしての心構えや、自ら問題提起をして解決へ導く自主性を確立する
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て「本当に喜ばれるウェディングとは何か」への理解を深める講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション・タイプ診断 【自分自身について知る】	筆記用具、PC	なし
3,4	理想のプランナー像 強みを強みとして伝えるように伝える 【相手に伝える】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5,6	コンセプトメイクの本質 ヒアリング 【相手のことを知る】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7,8	コンセプトメイクの本質 提案 【相手の想像を越える】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
9,10	既存式場のハード面のオリジナリティ 【調査研究力】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
11,12	既存式場のハード面のオリジナリティ 【プレゼンテーション力】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
13,14	新郎新婦に合わせたオリジナリティと配慮 マタニティ・少人数・LGBTQ etc 【多様性のウェディング】	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
15	定期試験	筆記用具、配布資料	全授業の復習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	オリジナルプランニングⅡ	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	新郎新婦に合わせたオリジナルプランニングを提案するための、基礎知識・感性・調査力・想像力・プレゼン力・チームワークを磨く過程で、ウェディングプランナーとしての心構えや、自ら問題提起をして解決へ導く自主性を確立する
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て「本当に喜ばれるウェディングとは何か」への理解を深める講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　　－　4. 0　　90点～100点 B　　－　3. 0　　80点～89点 C　　－　2. 0　　70点～79点 D　　－　1. 0　　60点～69点 E　　－　出席不良 F　　－　0. 0　　59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC 前期オリジナルプランニングの授業と両方取ることを推奨

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	フリープランナーという働き方 オリジナルウェディングとブライダル業界	筆記用具、PC	なし
3,4	プランナーのブランディング クリエイターとのチームメイク	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5,6	ゼロから作るオリジナルウェディング 準備編① ゼロからのタイムスケジュール	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7,8	ゼロから作るオリジナルウェディング 準備編② ゼロからの見積もり	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
9,10	ゼロから作るオリジナルウェディング 【調査研究】	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
11,12	ゼロから作るオリジナルウェディング 【資料制作】	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
13,14	ゼロから作るオリジナルウェディング 【プレゼンテーション リハ】	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
15	ゼロから作るオリジナルウェディング 【プレゼンテーション】	筆記用具、PC	

対象学科	ウェディング科							
対象学年	3 学年	科目名	ホテルマネジメントⅠ／Ⅱ		担当名	田中 博		
対象学期(Q)	前後 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数	2単位	30	時間
到達目標	ホテルの仕事や特徴、各部門の役割を知り、マネジメントに必要な経営・管理の知識とともに、すべてのビジネスパーソンにとって不可欠な利益を上げ「成果を最大化させるスキル」を習得。日々実践していけるような人材育成を目標とする。							
学習内容	ホテルマネジメントの基礎を学んだうえで、グループ制により仮想ホテルのウェディングプランを企画提案させる。授業の中では、仲間と協力して創りあげる力、チームマネジメントスキルも実践的に習得させる。							
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4. 0 90点～100点 B － 3. 0 80点～89点 C － 2. 0 70点～79点 D － 1. 0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0. 0 59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする							
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC 前期オリジナルプランニングの授業と両方取ることを推奨							

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション、評価方法、基準、自己紹介(ホテル)マネジメントとは何か？	PPT、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
2	ホテルの各部門の仕事と、必要な能力について	PPT、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
3	婚礼業を取り巻く現在の動向/今後の課題と解決策	PPT、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
4	仮想ホテルの婚礼プラン企画提案について説明	PPT、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
5	仮想ホテルの施設、ロケーション等の現地調査	筆記用具、カメラなど	授業内容に応じて、自宅学習
6	仮想ホテルの施設、ロケーション等の現地調査	筆記用具、カメラなど	授業内容に応じて、自宅学習
7	ホテルの婚礼プラン グループ作業①(全体の企画:ターゲット、プランイメージ、コンセプトなど)	PC、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
8	ホテルの婚礼プラン グループ作業①(全体の企画:ターゲット、プランイメージ、コンセプトなど)	PC、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
9	ホテルの婚礼プラン グループ作業②(経費、売上げ目標設定など)	PC、筆記用具、資料(ゼクシィなど)	授業内容に応じて、自宅学習
10	ホテルの婚礼プラン グループ作業②(経費、売上げ目標設定など)	PC、筆記用具、資料(ゼクシィなど)	授業内容に応じて、自宅学習
11	ホテルの婚礼プラン グループ作業③(PPTプレゼンテーション用資料など準備)	PC、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
12	ホテルの婚礼プラン グループ作業③(PPTプレゼンテーション用資料など準備)	PC、筆記用具、資料	授業内容に応じて、自宅学習
13	ホテルの婚礼プラン プレゼンテーション発表	PC、資料	授業内容に応じて、自宅学習
14	総評 / 次週定期試験について	PC、資料	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験(筆記試験)	筆記用具	授業内容に応じて、自宅学習

対象学科	ウェディング科		ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	レストランサービス検定Ⅲ	担当名	田島 史雄
対象学期	前 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリ出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション/食品/西洋料理に使用される主な食材/+	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
3,4	一般的な西洋料理調理法/飲料の種類および特徴 ワイン	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
5,6	一般的な西洋料理調理法/飲料の種類および特徴 ビール～ミネラルウォーター	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
7,8	メニュー/西洋料理の食器用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
9,10	接客の基本/宴会とレストランサービス 宴会	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
11,12	宴会とレストランサービス レストラン、客席案内、注文、テーブルサービス	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
13,14	調理の仕上げ、予約解約、メニュー管理、 一般的な救護方法	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
15,16	第11節食事のサービスマナー 第12節食事の国際習慣	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
17,18	第4章食文化 第5章施設管理 教科書全範囲復習	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
19,20	教科書全範囲復習	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
21,22	検定試験解答確認	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
23,24	お客様へのメニュー解説 西洋料理の食器用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
25,26	お客様への接客の基本 宴会とレストランサービス 宴会	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
27,28	お客様への レストラン、客席案内、注文、テーブルサービス	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
29,30	お客様への 食事のサービスマナー 食事の国際習慣	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	レストランサービス実技Ⅲ
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	田島 史雄
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリレストランサービス職種に出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では技能検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席 教科書、筆記用具、ノート持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	レストランサービスについて(実技)		
3,4	レストランサービスについて(実技)		
5,6	レストランサービスについて(実技)		
7,8	レストランサービスについて(実技)		
9,10	レストランサービスについて(実技)		
11,12	レストランサービスについて(実技)		
13,14	レストランサービスについて(実技)		
15,16	レストランサービスについて(実技)		
17,18	レストランサービスについて(実技)		
19,20	レストランサービスについて(実技)		
21,22	レストランサービスについて(実技)		
23,24	レストランサービスについて(実技)		
25,26	レストランサービスについて(実技)		
27,28	レストランサービスについて(実技)		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	レストランサービス実技Ⅳ
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	田島 史雄
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリレストランサービス職種に出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では技能検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席 教科書、筆記用具、ノート持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	レストランサービスについて(実技)		
3,4	レストランサービスについて(実技)		
5,6	レストランサービスについて(実技)		
7,8	レストランサービスについて(実技)		
9,10	レストランサービスについて(実技)		
11,12	レストランサービスについて(実技)		
13,14	レストランサービスについて(実技)		
15,16	レストランサービスについて(実技)		
17,18	レストランサービスについて(実技)		
19,20	レストランサービスについて(実技)		
21,22	レストランサービスについて(実技)		
23,24	レストランサービスについて(実技)		
25,26	レストランサービスについて(実技)		
27,28	レストランサービスについて(実技)		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ドレスデザインⅠ	担当名	北沢 聡子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	メンテナンス全体の技術を駆使し、お客様への適切なアドバイス・メンテナンス技術を提供できる。発案製作したという自信に繋げる
学習内容	廃棄ドレスを使いウエディングシーンのテーマ・コンセプトを作りメンテナンス技術を駆使して新しいドレスに蘇らせる
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業の後、進展状況を記述する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	授業の目的・流れ、オリエンテーション	筆記用具	ウエディングドレスの傾向を調べる
3,4	モデル決定、テーマコンセプトドレス選び	ドレス、パソコン	ウエディングシーンの傾向を調べる
5,6	デザイン画・工程表作成	ドレス、パソコン	採寸の復習
7,8	採寸・裁断開始 小物製作同時進行	ドレス、メジャー、裁縫道具	小物の傾向を調べる
9,10	パーツのトワフル仮縫い	ドレス、メジャー、裁縫道具	製作に対する質問を明確にしておく
11,12	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
13,14	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
15,16	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
17,18	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
19,20	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
21,22	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
23,24	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
25,26	小物・アクセサリチェック、リハーサル	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
27,28	仕上げ	ドレス・裁縫用具	メンテナンスの復習をする
29,30	定期試験	筆記用具	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	ドレスデザインⅡ	担当名	北沢 聡子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	メンテナンス全体の技術を駆使し、お客様への適切なアドバイス・メンテナンス技術を提供できる。発案製作したという自信に繋げる
学習内容	前期やってみてわかった事を反省点として、廃棄ドレスを使い披露宴のテーマ・コンセプトを作りメンテナンス技術を駆使して新しいドレスに蘇らせる
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業の後、進展状況を記述する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	前期の反省、やってみてわかった事	筆記用具	お色直しの傾向を調べる
3,4	モデル決定、テーマコンセプトドレス選び	ドレス、パソコン	披露宴の傾向を調べる
5,6	デザイン画・工程表作成	ドレス、パソコン	採寸の復習
7,8	採寸・裁断開始 小物製作同時進行	ドレス、メジャー、裁縫道具	小物の傾向を調べる
9,10	パーツのトワル仮縫い	ドレス、メジャー、裁縫道具	製作に対する質問を明確にしておく
11,12	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
13,14	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
15,16	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
17,18	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
19,20	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
21,22	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
23,24	各班ごとに作業	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
25,26	小物・アクセサリチェック、リハーサル	ドレス・裁縫用具	製作に対する質問を明確にしておく
27,28	仕上げ	ドレス・裁縫用具	メンテナンスの復習をする
29,30	定期試験	筆記用具	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	会場コーディネートⅠ／Ⅱ	担当名	松近玲子
対象学期	前後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60時間

到達目標	フローリストとしてウェディングの用語ややるべきことを理解し実際の現場において円滑なコミュニケーションを取り思い描くウェディングを実行できるように到達する。
学習内容	テーブルコーディネート、マナー教室主宰し13年、その際フラワー作成も身につける。ウェディング装飾のコーディネートも手掛ける。またホテル内の花屋に属し、装花、コーディネート、セッティング、打合せなど現在も実践中の為リアルなものを伝えていきたい。国家資格であるブライダルコーディネーター資格取得の為の授業も経験済み。ウェディングのことを理解しオリティ어의高い心のこもった対応のできる人になれるような講義を実践する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション。この授業の目標点について。それぞれが思い描く夢、目標などを作成	筆記用具、色鉛筆、ハサミ	授業内容に応じて自宅学習
3,4	フローリストの仕事について。やるべきことを考える	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
5,6	新郎新婦様の希望を引き出すヒアリング練習。隣同士で実践する。	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
7,8	フローリストが行う打合せについて。コンセプトシート作成	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
9,10	コミュニケーション力を身につける。必要とされるフローリスト	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
11,12	ウェディングにおける装飾スタイルについて	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
13,14	打合せのロープレ(花のカラー種類を伝えられる)	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
15,16	打合せのロープレ(新郎新婦様が望む打合せ力)	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
17,18	前回の振り返り。打合せ通りの装飾、フラワー作成まで図にし完成させる	筆記用具、色鉛筆	授業内容に応じて自宅学習
19,20	9回目に行ったコンセプトシートの卓上フラワー作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
21,22	9回目に行ったコンセプトシートのブーケ作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
23,24	決めたテーマのフラワー作成、ラッピング、お包み練習	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
25,26	全員でウエルカムボードや受付テーブル、ブライズルーム装花作成	筆記用具、花ばさみ	授業内容に応じて自宅学習
27,28	披露宴の流れを再確認、好きな花作成	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
29,30	定期試験	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	科目名	ブライダル撮影Ⅲ
対象学期	前 期	講義 ・ 演習	実技 ・ 実習
		担当名	近藤・高杉
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ウェディングフォトグラファーの全般の知識・技術を身に付け、撮影から編集までできるようになる
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 [講師紹介] 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 今後の授業の流れの説明・質疑応答パソコン・筆記用具	パソコン・筆記用具	高杉
2	カメラの基本操作の復習Ⅰ	カメラ・パソコン	高杉
3	データ編集の復習	カメラ・パソコン	近藤
4	課外撮影～編集Ⅰ	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
5	課外撮影～編集Ⅱ	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
6	カメラの基本操作の復習Ⅱ	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
7	カメラの基本操作の復習Ⅲ	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
8	撮影データの修正加工 (Lightroom・Photoshop・Illustrator)	カメラ・パソコン	近藤
9	アルバム作成 アルバムを作成する為の知識とソフトの説明	カメラ・パソコン	近藤
10	構図を学ぶⅠ (画角・アングル・レンズについて)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
11	光を学ぶ (WB・自然光・補助光・ライティング)	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
12	色を学ぶ (色温度の調整・自然光・ストロボ光の基本色)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
13	課外撮影～編集Ⅲ	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
14	おさらい 質疑応答(個別で足りないところを補う)	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
15	定期試験	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習
	担当名	近藤・高杉
	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ウェディングフォトグラファーの全般の知識・技術を身に付け、撮影から編集までできるようになる
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 [講師紹介] 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル基礎知識の復習 ブライダルの基本的なマナー・知識を学ぶ	パソコン・筆記用具	高杉
2	声かけ (礼儀作法・言葉使い・伝え方・NGワードなど)	パソコン・筆記用具	近藤
3	メイク撮影・物撮りのおさらい	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
4	スタジオ撮影Ⅰ (機材の使い方の復習)	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤
5	スタジオ撮影Ⅱ (婚礼・七五三・成人式・記念撮影)	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤
6	スタジオ撮影Ⅲ (画像処理・補正処理・修正)	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤
7	挙式撮影のおさらい	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
8	披露宴撮影のおさらい	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
9	アルバム作成 アルバムを作成する為の知識とソフトの説明	カメラ・ストロボ	高杉
10	ロケ撮影・前撮り撮影・ポーズ撮影	パソコン・筆記用具	高杉
11	ブライダル座学のおさらい	パソコン・筆記用具	近藤
12	写真座学まとめ	パソコン・筆記用具	近藤
13	アルバム作成	パソコン・筆記用具	近藤
14	アルバム作成	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
15	定期試験	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	女性のためのライフワークバランスA	担当名	霜井 理名
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	女性のライフステージへの考え方や、人生におけるマネー講座を通して自身の将来のライフワークバランスに想いを馳せることができる
学習内容	・SMBCコンシューマーファイナンスの社員の方からのマネー教育について学ぶ ・女性のキャリア教育に精通した方からの結婚・出産・育児を両立した働き方や、女性管理職について学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	4月15日 初回授業 4コマ

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～4	◆ライフワークバランスとは？ ◆女性のキャリアの築き方 結婚・出産・育児などのライフイベントに伴う働き方の変化について	課題	
5～8	◆マネー教育 ・生活設計 家計管理について		
9～12	◆マネー教育 ・ローンクレジット 金融トラブルについて		
12～15	◆女性管理職の働き方		
	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策2級 I	担当名	山岸 智恵子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーター職種における中級の技能者が有すべき技能及びこれに関する知識を習得し【2級ブライダルコーディネーター技能検定試験（中級レベル）】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験（中級レベル）】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　－　4.0　　90点～100点 B　－　3.0　　80点～89点 C　－　2.0　　70点～79点 D　－　1.0　　60点～69点 E　－　出席不良 F　－　0.0　　59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と筆記用具を持参すること（※第13回以降PC必須となります。）

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力/2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP18～25を読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語について、4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP34～52読む
5	IIIプランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP54～89読む
6	IVブライダル商品の特徴/プレゼンテーション(新規・成約)の概略、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP92～100読む
7	V手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP122～146読む
8	VIIブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP148～172読む
9	VIII経営管理/マネジメント業務、計数管理、顧客マネジメント、マーケティング、集客のためのプロモーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP174～204読む
10	VIII経営管理/ペーパーワーク、リスク管理、コンプライアンス IXトラブル対処/種類、クレーム対応の基本	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP208～235読む
11	Xブライダル基本知識/結婚の定義、日本の結婚式の歴史と文化、海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP238～259読む
12	Xブライダル基本知識/見合い・婚約・結納、結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP260～299読む
13	I～VI振り返りアウトプット/模擬試験①・解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP14～146読む
14	VII～X振り返りアウトプット/模擬試験②/定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP148～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	BR国家検定対策2級Ⅱ	担当名	山岸 智恵子
対象学期	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーター職種における中級の技能者が有すべき技能及びこれに関する知識を習得し【2級ブライダルコーディネーター技能検定試験(中級レベル)】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験(中級レベル)】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指せるための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と筆記用具を持参すること(※第3回以降PC必須となります。)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	Xブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP300～305読む
2	Xブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP308～325読む teamsアップの過去問トライ
3	Xブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方/過去問解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP326～340読む
4	Xブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP341～353読む teamsアップの過去問トライ
5	国家検定過去問(学科・記述問題含)/解説 模擬試験③	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
6	振り返り/模擬試験③解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
7	国家検定過去問(学科・記述問題含)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
8	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
9	国家検定過去問(学科・記述問題含)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
10	解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
11	国家検定過去問題(学科・記述問題含)/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
12	国家検定過去問題(学科・記述問題含)/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
13	模擬試験④/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
14	2級国家検定(学科)直前対策/定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	ドレスショー I	坂田 依智子
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	6単位 90 時間

到達目標	ブライダル業界の課題に対しての現状のドレスショーの問題点を見出し、今までにない新しいスタイルのドレスショーの企画を提案、プレゼンテーションできる
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストとして約15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が、学生主体のドレスショーの企画、プレゼンテーションに必要な知識・スキルを指導し、助言を行う
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業で進捗状況の擦り合わせ有/他人事にせず積極的に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～3	ドレスフィッティング～ドレスの魅力とは	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
4～6	現状のドレスショーの課題や問題点の抽出	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
7～9	ドレスショーの課題や問題点の発表	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
10～12	講義～音響・照明について ドレスショー企画書作成の説明	オリジナル資料	授業内容に応じて自宅学習
13～15	ドレスショーの企画書作成①～コンセプト設定	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
16～18	ドレスショーの企画書作成② ～集客方法・パンフレット	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
19～21	ドレスショーの企画書作成③～構成	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
22～24	ドレスショーの企画書作成④～衣装	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
25～27	ドレスショーの企画書作成⑤ ～モデルの動き・ポージング	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
28～30	ドレスショーの企画書作成⑥～音響・照明	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
31～33	ドレスショーの企画書の完成、仕上げ	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
34～36	中間プレゼンテーションのリハーサル	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
39～41	中間プレゼンテーション	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
42～32	中間プレゼンテーションの振り返り ブラッシュアップ	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
44～45	ブラッシュアップした内容をプレゼン 前期の振り返りと後期にむけてのレポート作成	パソコン	授業内容に応じて自宅学習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	3 学年	ドレスショーⅡ	坂田 依智子
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	6単位 90 時間

到達目標	提案した企画書に沿って、計画・準備し、ブライダル業界の課題解決に向けた新しいスタイルのドレスショーを実施できる
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストとして約15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が、ドレスショーの実施に必要な準備を指導、心構えを身につけさせる
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業で進捗状況の擦り合わせ有/他人事にせず積極的に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～3	ドレスショーの企画発表 ドレスショー当日の役割分担	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
4～6	衣装選び①	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
7～9	衣装選び②	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
10～12	衣装小物選び	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
13～15	モデルの動き・ポージング(フィッティング)	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
16～18	選定した衣装説明	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
19～21	選定した衣装のプレゼンテーション 講義～司会進行について	パソコン・オリジナル資料	授業内容に応じて自宅学習
22～24	役割担当別① 司会原稿作成／ヘアメイクデッサン／ブーケ(ブートニア)デッサン／音響・照明／パンフレット制作	パソコン	授業内容に応じて自宅学習
25～27	役割担当別② 司会原稿作成／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング／ブーケ(ブートニア)制作／音響・照明／パンフレット制作	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
28～30	役割担当別③ 司会原稿作成／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング／ブーケ(ブートニア)制作／音響・照明／パンフレット制作	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
31～33	役割担当別④ 司会原稿とBGMの合わせ／モデルにヘアメイク・衣装フィッティング・動き・ポージング／ブーケ(ブートニア)制作	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
34～36	司会、BGMにモデルの動き・ポージング合わせ練習①	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
39～41	司会、BGMにモデルの動き・ポージング合わせ練習②	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
42～32	リハーサルの予行練習／衣装最終フィッティング	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習
44～45	ドレスショーの準備、最終チェック 後期の振り返りとドレスショーにむけてレポート作成	白手・パソコン	授業内容に応じて自宅学習

対象学科	ウェディング科	
対象学年	3 学年	科目名
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
キャリア教育講座Ⅲ		担当名
		霜井 理名
単位/時間数		2単位 30 時間

到達目標	キャリア目標が設定でき、キャリアの上で必要な能力、社会に出て働きたいキャリアのイメージを表現できるまでになる。社会への貢献を目指すキャリアの構築について明確にする。																					
学習内容	JESC認定の教員カウンセラー資格を持つチューターや、業界に精通するキャリアセンター長から、職業人として求められる社会人基礎力と考える力、マネジメント力を高めることを目指して、講義を行う。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>出席不良</td><td></td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は課題レポートとする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E	出席不良		F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E	出席不良																					
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	※パソコンは必ず持参																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材・課題点	持ち物
1	3年生オリエンテーション	学生便覧 チームズ内資料にて	パソコン
2	就職活動と結婚式運営スケジュール学校のルールの再確認		
3	社会人基礎力① 何故働くのか	オリジナル教材	パソコン
4	社会人基礎力② 仕事とキャリアについて		
5	社会人基礎力③④キャリア形成の要素について	オリジナル教材	パソコン
6			
7	社会人基礎力⑤⑥自立・自律・自尊について	オリジナル教材	パソコン
8			
9	社会人基礎力⑦ チームの中で働く	オリジナル教材	パソコン
10	社会人基礎力⑧ チームビルディング		
11	後期授業に向けて	オリジナル教材	パソコン
12	社会人基礎力振り返りレポート作成		
13	卒業アルバム撮影		
14			
15			

対象学科	ウェディング科				
対象学年	3 学年	科目名	現場実習Ⅲ		担当名 岡覚子/霜井里奈
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨む必要があります。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心をもち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方向・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わるすることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科		ウェディング科		科目名	現場実習Ⅴ 講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名	岡覚子/霜井里奈	
対象学年	3	学年	単位/時間数			6単位	180	時間
対象学期	後	期						
到達目標				職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。				
学習内容				現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。				
成績評価の方法と基準				70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 実習報告書の提出を必須とする				
履修に当たっての留意点				実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる				

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨む必要があります。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心をもち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わるすることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科	ウェディング科						
対象学年	3 学年	科目名	ハウスウェディング運営・実践Ⅰ／Ⅱ 講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名	岡、霜井、他各専門講師		
対象学期	前後 期			単位/時間数	6単位 90 時間		

到達目標	学内施設(エクラ)での本物の結婚式運営業務を学び、実践的な思考・行動を身に付ける。
学習内容	結婚式を企画段階から挙式まで現場と同様に自分たちでおこなうことで、実践力を発揮する集大成の内容。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	自分の役割で主体性を発揮するとともに、他の役割の学生とも連携を図る。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
参加学生全員受講の授業とプランナー、フローリスト、ドレススタイリスト、フォトグラファーの各専攻別での授業を組み合わせる。 ハウスウェディングの事前理解から、打合せ、挙式当日までの準備、リハーサル、挙式当日、挙式後の業務、振り返りなどから、実際の結婚式を通じて現場力を身に付け、卒業後に活かせるようにする。 授業の内容やスケジュールはハウスウェディングの資料を参照	進行スケジュール等参照